

< 参考資料 >

福島第一原子力発電所 1, 2号機 建屋内滞留水水位計の 設置について

平成25年5月24日
東京電力株式会社



東京電力

< 建屋水位計を設置する目的 >

【現状】

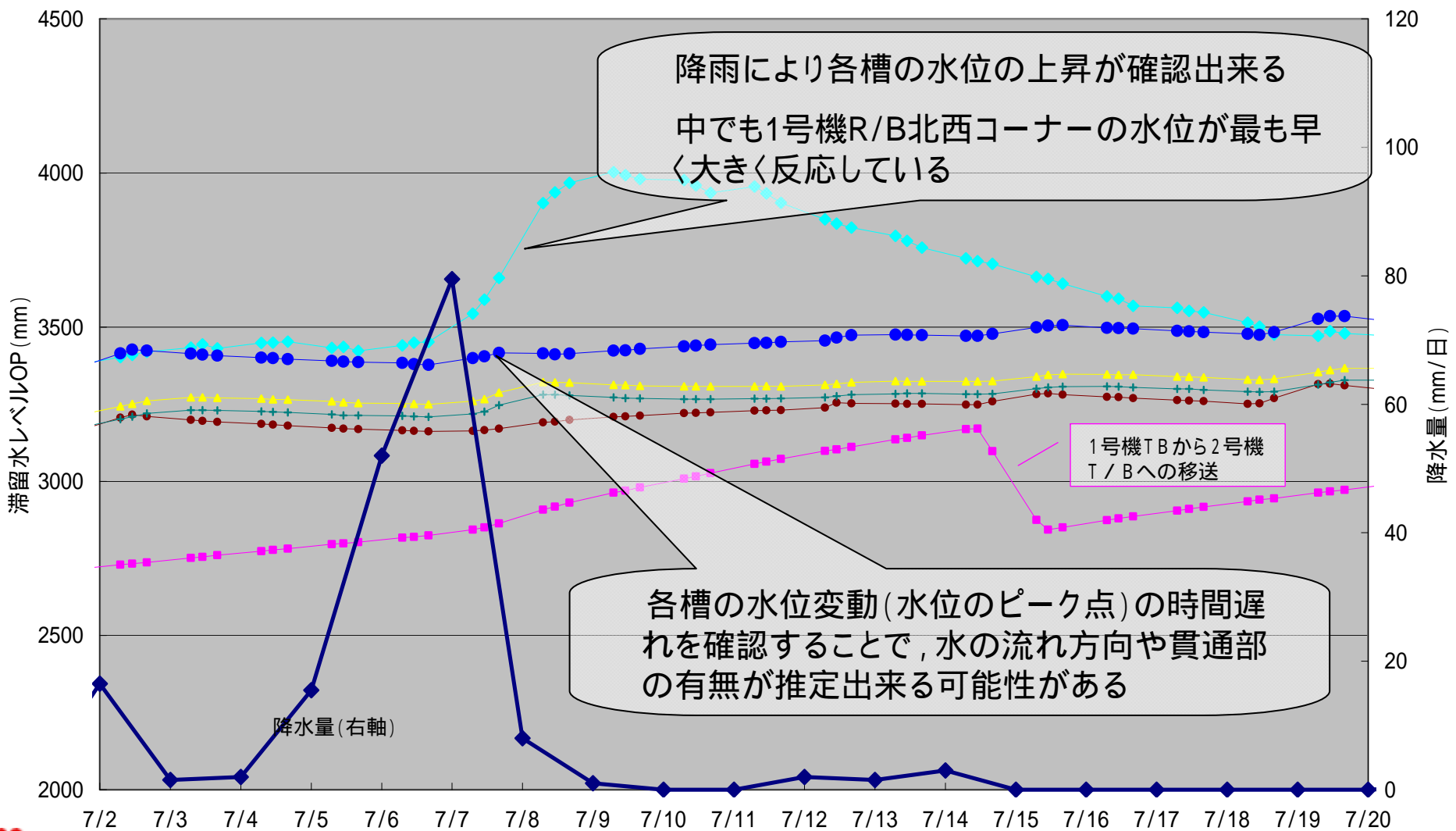
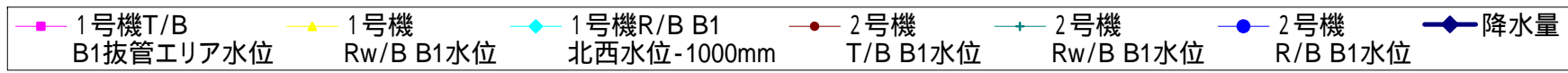
- ・建屋内に約400t/日の地下水流入があると想定しているが、どの号機、どの建屋への流入が支配的であるのかを想定できていない

水位計を設置し連続で水位
データを採取することにより

以下の分析・評価に活用できる

- ・地下水の流入が支配的な号機および建屋の絞り込み
- ・原子炉建屋の各三角コーナーおよびトラス室にて、どの箇所からの地下水流入が支配であるか
- ・建屋内滞留水の挙動(建屋間の流出箇所)の把握

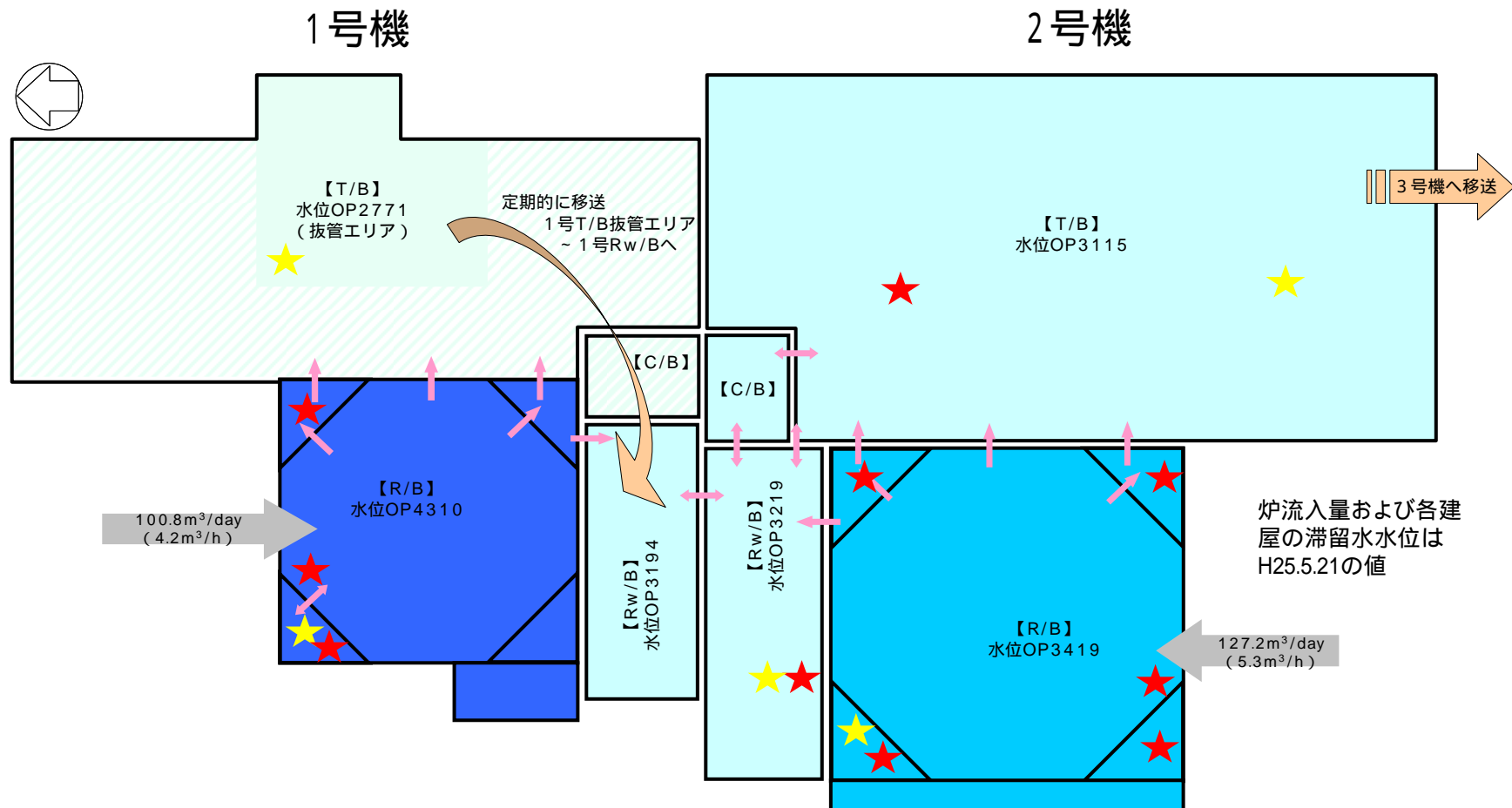
< 水位データ評価の例(水位の時間遅れの確認) >



< 水位計設置箇所 >

場所		1号機		2号機		3号機	
		追設	備考	追設	備考	追設	備考
R/B	トラス室		PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される (R/B1階床穴明け箇所より投入)		PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される (R/B1階床穴明け箇所より投入)		PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される
	北東三角コーナー		9月の調査で北西三角コーナーとの水位差が確認されたため、設置が望ましい		壁貫通部からT/B、Rw/Bへ漏水している可能性がある		壁貫通部からT/B、Rw/Bへ漏水している可能性がある
	北西三角コーナー		9月の調査で北東三角コーナーとの水位差が確認されたため、設置が望ましい		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性はある		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性はある
	南東三角コーナー	×	Rw/Bへの流出があると推定しているが、現状アクセス困難なため設置不可		壁貫通部からT/Bへ漏水している可能性がある		壁貫通部からT/Bへ漏水している可能性がある
	南西三角コーナー	×	現状アクセス困難なため設置不可		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性はある		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性はある
T/B	×	現状水位からは、滞留水は抜管エリアのみと思われる(T/B側壁面は気中)		R/Bトラス室、北東および南東三角コーナーからの滞留水の流入が考えられる		R/Bトラス室、北東および南東三角コーナーからの滞留水の流入が考えられる	
Rw/B	×	2号機Rw/Bとの連絡扉が開いていることから、線量の低い2号機Rw/Bの水位を測定する		R/B北東三角コーナーおよび1号機Rw/Bからの滞留水の流入、T/Bへの流出が考えられる		R/B北東三角コーナーからの滞留水の流入、T/Bへの流出が考えられる	
設置箇所数		計3箇所		計7箇所		計7箇所 (設置時期等は今後検討)	

< 1, 2号機 設置予定箇所 >



★ 設置予定箇所 (新設)

★ 設置済み箇所 (既設)

設置作業における被ばく線量を抑制するため、
設置作業性に優れた投げ込み式の水位計の内、
1, 2号機での環境において耐放射線性に問題
のない水位計を選定し設置

<スケジュール(案)>

号機	項目	5月				6月			
1号機	水位計準備・搬入			水位計納入					
	ケーブル類設置 デジレコ等設置								
	水位計設置								データ採取・分析
2号機	水位計準備・搬入			水位計納入					
	ケーブル類布設 デジレコ等設置								
	水位計設置								データ採取・分析